

# 参加要項

## 1. 開催趣旨

音楽が育つ街づくりの一環として、音楽活動を行なう小・中学生たちに活動の成果を披露する場をつくり、今後の技術の向上を図りつつ、音楽の楽しさを感じられるよう“国分寺”の冠の付いたコンクールを開催いたします。本コンクールは現時点での演奏技術を競うものではなく“みらい”を見据えて、今後の演奏に対する期待や、心に響く演奏かどうかを重視します。

## 2. 主催

国分寺市／指定管理者いずみホール協働事業体

## 3. 後援

国分寺市音楽連盟

## 4. 選考日程

- ・予選 令和元年11月 3日（日）国分寺市立いずみホール Aホール（非公開）
- ・本選 令和元年12月15日（日）国分寺市立いずみホール Aホール（公開）

## 5. 開催部門

ピアノ ※クラシックに限る。定員：各部門30名（先着順）

- ・小学校高学年（5・6年生）部門
- ・中学生部門

## 6. 課題

任意のクラシック曲（複数曲可）

演奏時間：予選4分以内／本選8分以内

※演奏時間とは、音の出だしから終わりまでの時間を指します。入退場や、足台・補助ペダル等の準備の時間は含まれません。

※演奏時間を越えた場合はベル等でカットすることがありますが審査に影響はありません。

※演奏はすべて暗譜でおこなってください。

※繰り返しは省略して演奏してください。1番カッコは省略し、2番カッコに飛んでください。ただし、D.C.D.Sは表記どおり演奏してください。

※足台・補助ペダルは各自で準備、セッティングをお願いします。

※曲目は許諾不要の楽曲（著作権消滅曲）に限ります。

※予選で演奏した曲を本選で演奏することは可能です。

## 7. 審査方法

- ・予選を行い本選出場者を選出し、本選（公開審査）にて入賞者を決定します。
- ・予選は2名、本選は1名の審査員で審査を行います。
- ・予選において各部門、上位最大10名を選出し、本選出場者を決定します。
- ・予選のみ、各審査員が一人ひとりに講評を書き、参加者全員にお渡しします。今後の演奏にお役立てください。
- ・審査（演奏）の順番は申し込み順とします。

## 8. 結果発表

- ・審査結果については後日、国分寺市立いずみホールホームページ上で氏名を発表します。
  - ・可否に関わらず、予選結果通知書を講評用紙と併せて11月7日（木）までに発送予定です。
- ※なお予選通過者には本選への出場を義務付けるものとします。

## 9. 表彰

本選出場者の中から、部門ごとに金賞・銀賞・銅賞を選出します。

加えて全部門から、グランプリ1名とみらい賞（聴衆賞）を決定します。

※みらい賞は主催者が委任した聴衆者により選出します。

※各賞には賞状及びトロフィーが授与されます。

※上位入賞者には受賞者出演によるコンサートを企画します。

## 10. 申込方法

参加要項を確認の上、参加申込用紙に記入いただき予選参加費と併せて、受付期間内に国分寺市立いずみホール事務所窓口まで、直接ご持参ください。

東京都国分寺市泉町3-36-12 国分寺市立いずみホール内事務所窓口  
（JR 西国分寺駅徒歩2分）

受付時間 9：00～18：00

## 1.1. 参加費

予選：1,000円 / 本選：2,000円

## 1.2. お支払い方法

予選は申し込み時に、本選は当日、受付時にお支払いください。※現金のみのお取り扱いとなっております。

## 1.3. 受付期間

令和元年7月14日(日)～9月9日(月)※休館日を除く、9時から18時までにご来館ください。

【休館日7月16日(火)、8月5日(月)、8月19日(月)、9月2日(月)】

※予選当日のタイムスケジュールなどの詳細については申し込み時にお渡しします。

## 1.4. 審査員

- ・本選審査員：イリヤ・ラシュコフスキー (ピアニスト)
- ・予選審査員：樋口一朗 (ピアニスト)
- ：樽谷公平 (ピアニスト)

## 1.5. その他

- ・小学5年生～中学3年生の方であれば、国分寺市内、市外を問わず参加可能です。
- ・曲目の変更はできません。
- ・応募書類及び参加費の返却はいたしません。
- ・参加に要する経費(交通費・宿泊費・食費など)は、参加者の負担とします。
- ・受付時刻までに審査会場に来られない場合は失格となります。
- ・審査結果発表後の審査内容についてのお問合せにはお答えできません。
- ・コンクールにおいて使用するピアノは予選、本選ともにスタインウェイ D-274、ピッチは442Hzです。
- ・本選の入場料は500円(全席自由)です。

## 1.6. お問い合わせ

国分寺市立いずみホール事務所

TEL：042-323-1491 (9:00～20:00)



### 本選審査員 イリヤ・ラシュコフスキー (ピアノ)

84年ロシア・イルクーツク生まれ。

98年V.クライネフ国際コンクール優勝。同年、ロストロポフ・ヴィチ財団の奨学金を授与。

各地の音楽祭に招かれる他、A.カッツヤキエフ交響楽団とも共演。01年ロン＝ティボー国際音楽コンクール2位、05年香港国際ピアノコンクール優勝、07年エリザベート王妃国際音楽コンクール4位、11年ルービンシュタイン国際ピアノコンクール3位、12年浜松国際ピアノコンクール優勝&聴衆賞、札幌市長賞も受賞。翌年2013年には優勝者記念コンサートツアーが日本国内外で25公演開催された。ハノーファー音楽大学でV.クライネフ氏に師事後、エコール・ノルマル音楽院にてM.リビツキに師事。最新CDは2016年リリースの「展覧会の絵」(仏La Musica)。パリ在住。



### 予選審査員 樋口一朗 (ピアノ)

桐朋学園大学を卒業し同大学院1年在学中。2018,19年度ロームミュージックファンデーション奨学生。第7回仙台国際音楽コンクールにてセミファイナル聴衆賞。第35回飯塚新人音楽コンクール第1位。第85回日本音楽コンクール第1位。併せて、野村賞、井口賞、河合賞、E・ナカミチ賞、アルゲリッチ財団賞を受賞。第16回チェコ音楽コンクール第1位。九州交響楽団、東京シティフィル交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、セントラル愛知交響楽団と共演。奨学生としてドイツのLeipzigで開催されるメンデルスゾーン国際音楽アカデミー2018に参加。第19回別府アルゲリッチ音楽祭2017にてソロリサイタルを行うなど、各地で活動を広げている。NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』に出演などラジオの出演も多数。現代曲の分野にもレパートリーを増やしている。これまでに青柳晋、M.Voskresensky、P.Devoyon、B.Riggto、Jean-Claude Penetier、M.Raekallio、J.Rouvier、E.Virsaladzeの各氏のレッスンを受講。これまでに川口由美子、中村順子の各氏、現在岡本美智子氏に師事。



### 予選審査員 樽谷公平 (ピアノ)

大分県別府市出身。第37回大分県音楽コンクール第1位。第69回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入選。第9回桐朋ピアノコンペティション、ファイナリスト。

桐朋学園大学成績優秀者によるStudent's Concert、第20回記念別府アルゲリッチ音楽祭に出演。これまでにバスカル・ドヴァイヨン、ミハエル・ヴォスクレセンスキー、ジャン＝マルク・ルイサダ、ジャン＝クロード・パヌティエ、エリソ・ヴィルサラゼ各氏のマスタークラスを受講し研鑽を積む。霧島音楽祭マスタークラスでは、ヴィルサラゼ氏推薦によるロビーコンサートに出演。これまでに木戸聡美、中島利恵、畑瀬由美子各氏に、現在村上弦一郎、沼沢淑音両氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部4年在学中。